

釧路港ポート セールス 2025

兼 第3回 釧路港物流 ワーキング

釧路港では、物流の2024年問題など、モノが運べなくなる時代を迎え、国内物流を支えるために、釧路港の果たすべき役割について議論する「釧路港物流ワーキング」を地元港湾事業者の皆様と立ち上げました。

今回は、例年開催している「釧路港ポートセールス」と「釧路港物流ワーキング」を同時開催し、物流の2024年問題を契機に釧路港を核とした新しい物流形態を確立すべく、北海商科大学の相浦教授に基調講演をいただき、また、パネルディスカッションにて、「道内物流における、これからの釧路港のポテンシャル」についてご議論いただきます。

プログラム

第1部：釧路市発表

基調講演（北海商科大学教授 相浦宣徳氏）

第2部：パネルディスカッション

●主催：釧路市 ●後援：釧路港湾協会

お問合せ先 釧路市水産港湾空港部港湾空港課 TEL 0154-53-3374

お申し込みアドレス <https://forms.gle/XDLtsvSSoj9Mnfs77>

申込みはこちらから▶



定員
220名
参加無料

令和7年
1月29日(水)

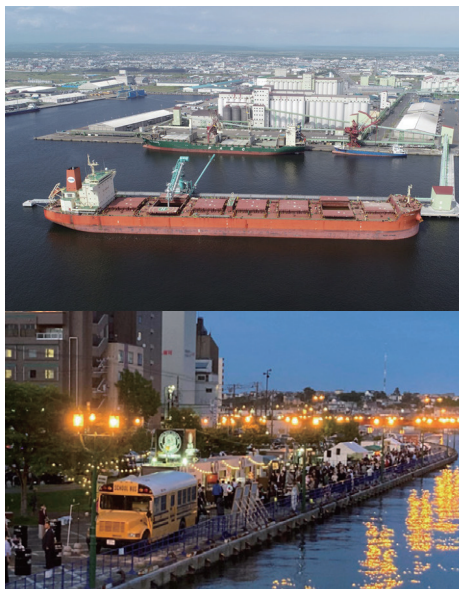
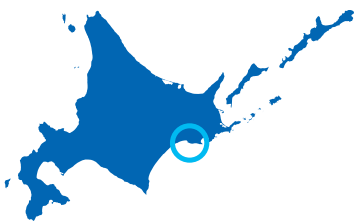
13:30~16:00

札幌市民交流プラザ 3階
クリエイティブスタジオ
北海道札幌市中央区北1条西1丁目



釧路港ポートセールス 2025

兼 第3回 釧路港物流 ワーキング



プログラム

- 13:30 開会
13:30 主催者挨拶
13:35 釧路市発表
「釧路港将来ビジョンの策定について」
13:50 基調講演 北海商科大学 相浦宣徳氏
「釧路港 ～モノの最終到着港から
ひがし北海道を支える結節拠点へ～」
14:15 休憩
14:30 パネルディスカッション
道内物流において、これからの釧路港のポテンシャル
・物流の2024年問題がもたらす道内物流への影響
・道内物流において釧路港が果たすべき役割
15:50 質疑応答
16:00 閉会

コーディネーター

北海商科大学 学術発展センター長 教授

相浦宣徳 (あいうらのぶのり)

北海道大学大学院修了・博士(工学)、京都大学工学部助手を経て、2011年より現職。
日本物流学会学会賞受賞及び副会長着任。(いずれも2023年)
専門は、地域物流・物流基幹ネットワーク。



パネリスト

イオン北海道株式会社

商品本部 商品戦略部 物流改革マネージャー

石田 将 (いしだ しょう)

北海道ジャスコ(株)入社
イオン(株)出向 イオン北海道 XD センター長を担当、
マックスバリュ北海道(株)にて物流システムを担当、
イオン北海道(株)にて石狩 PC 開設を担当後、現職。
物流に携わり約20年。



川崎近海汽船(株) 釧路支店 支店長

塩見圭 (しおみけい)

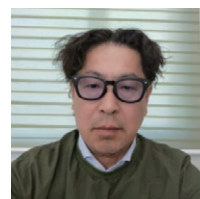
川崎近海汽船(株)入社後、釧路支店での現場店業務を皮切りに、
日立支店や大分支店での現場店業務、東京本社での総務、内航定期船業務を経て、2023年より現職。



(株) 浜中運輸 代表取締役専務

神林剛 (かみばやしつよし)

(有) 浜中運輸入社後、釧路営業所の新設担当、茨城県ひたちなか営業所の新設担当を経て、2011年より現職。



お申し込みはこちらから

<https://forms.gle/XDLtsvSSoj9Mnfs77>

お申込締め切り:2025年1月24日(金)



運輸、小売、製造、倉庫業などの
皆様のご参加をおまちしております。

※今回、個人でのご参加はお受けして
おりません。ご了承ください

アンケートへの
ご協力を
お願いします

後日、メールでアンケートを
送付いたします。